

会 議 録

会議の名称		第4回豊中市環境審議会(第15期)		
開催日時		令和7年(2025年)10月16日(木)10:00-10:45		
開催場所		WEB開催	公開の可否	<input checked="" type="radio"/> 可 不可・一部不可
事務局		環境部ゼロカーボンシティ推進課	傍聴者数	2人
公開しなかった理由		—		
出席者	委員	前迫委員、加我委員、紀伊委員、小島委員、小谷委員、余田委員、中村委員、小西委員、荒起委員、井上委員、鈴木委員、廣田委員		
	事務局	環境部：藤家部長、片羽次長兼資源循環長 ゼロカーボンシティ推進課：石原課長、北郷課長補佐、石原係長、上坂主査、菅主事、高橋、河瀬 公園みどり推進課：内田課長、益住係長、奥田係長 減量計画課：小林課長、小川課長補佐、三浦係長 環境指導課：多々主幹		
	その他	エヌエス環境株式会社		
議題		1. 第3次豊中市環境基本計画の進行管理について 2. その他		
資料		資料1：環境報告書「とよなかの環境 2024年度速報版 10月31日公表」 -審議会評価及び市の考え方-(案) 参考資料1：第3回豊中市環境審議会意見対応表 参考資料2：第15期環境審議会委員名簿 参考資料3：豊中市環境審議会規則		
審議等の概要 (主な発言趣旨)		別紙のとおり		

開会

- ・資料の確認
- ・会議成立の報告

1. 第3次豊中市環境基本計画の進行管理について

○事務局

資料1、参考資料1に基づき説明。

○会長

ただいまの説明について、環境目標ごとに審議していく。

まず、目標1についてご質問、ご意見などあるか。

○委員

しっかりと記載されており、問題ない。

○委員

前回の審議会で、私が発言した評価分析の説明はその通りであるが、趣旨が少し違う。今後の分析が大事という意味だけではなく、今回の取組みについても、しっかり分析していかないといけないというニュアンスを含めて話していたつもりである。記載の審議会評価では、一般論っぽくなっているため、今回の取組みについても引き続き評価・分析していくというニュアンスを評価に入れてもらいたい。

○会長

どのように記載すればよいか、アイデアはあるか。

○委員

「行っている」の後に「今回のテーマについても分析し」といった、分析の対象が今回なのか次なのか分かるような補足をいただきたい。

○事務局

『行っているが』の後に、『今回の意見交換会を踏まえた取組みの分析を行うとともに、今後も～』という表記にするのはどうか。

○委員

問題ない。

○会長

次に目標2について、ご質問、ご意見などあるか。

○委員

審議会評価「市の取組みの効果が図りにくくなっています」という部分について、効果を計測する意味での「はかる」であるため、「測る」の方が文字と言ひ回しが適切だと思う。

○委員

審議会評価の「取組みの成果が表れていると評価できます」という部分であるが、私の意図は「市民の取組みの成果が大きく表れた」というより、「一定程度評価できる」というニュアンスである。市民も頑張っている部分はあるが、それだけが大きく貢献したわけではなく、他の要因もあって減少したと思う。そのため、「評価できます」ではなく「一定評価できる」という表現にしていきたい。

次に、市の考え方について追記の要望である。今の記載内容では市民の取組みに市が働きかけていくことが書かれていない。市として、引き続き市民・事業者に働きかけていくはずなので、そういった記載を追記した方が良いと考える。

○事務局

ご意見の通り、今後も市民・事業者に向けての事業は実施していく。書き方は検討するが、市の考え方へ追記する。

○委員

島根県隠岐の島町や兵庫県の宍粟市と連携協定を結んで取組みしているとのことで、これは他の市町村と連携してカーボンクレジットやカーボンオフセット事業を進めていると理解している。

豊中市でも、カーボンクレジットを生み出すような取組みを検討する、また、出てきたクレジットを他の市町村に購入してもらうことで、お互いにクレジットを購入し合い、補完し合う関係を築くことも検討できるのではないかと。豊中市は都市部なのでできることに限りがあるが、他の市町村と連携することで対応できることもあると感じているため、そういったことも市の考え方に追加していきたい。

○事務局

ご意見について、今後も調査・研究が必要な分野だと考える。そのため、市の考え方については、どこまで反映できるかは検討が必要であるため、審議会評価で記載するのはどうか。

○委員

審議会評価での記載で良い。

○会長

「自然資源等を活用した温室効果ガスを吸収する仕組み」とあるが、これはネイチャーベースドソリューション(NbS)という言葉が環境省や経産省でも使われているので、追記してほしい。

○事務局

追記する。

○会長

次に目標3について、ご質問、ご意見などあるか。

○全体

意見なし

○会長

次に目標4について、ご質問、ご意見などあるか。

○委員

今回は発言しなかったのですが、文言修正のお願いではないが、令和 8 年度にみどり率の調査を行うとのことで、その際、市民満足度も同時に評価されると思っている。緑地については、主観的な満足度だけでなく、都市構造の影響など、さまざまな効果があると思う。そうした点も調査の中でできる限り評価していただきたい。

○事務局

ご意見について、その考え方も盛り込んで、今後考えていきたいと思う。

○会長

次に目標5について、ご質問、ご意見などあるか。

○委員

審議会評価の航空機騒音について、航空機騒音は常時監視業務を行っているので、「引き続き」の後に「測定や監視業務を行いながら」という文章を追加していただきたい。

○事務局

ご意見について、修正する。

○会長

全体を通して、意見はあるか。

○委員

資料1の最終ページ『家庭でできること』『事業者でできること』のページについて、冒頭の見出し『市民・事業者とみんなで取り組もう』の“みんな”は誰を指しているのか少し分かりにくいと感じる。『市民・事業者みんな』なら理解できるが、『市民・事業者とみんなで取り組もう』だと、市民・事業者・みんな、という3つに見えてしまう。「と」を消すなど修正してはどうか。

○事務局

修正する。

○委員

目標 5 について、評価や進捗を見ると航空機関連の部分がどうしても目立つ印象がある。審議会評価の 3 つ目にある「改善が困難な指標」については、新しい指標の検討などを加えて、より取り組みの進捗が分かるようにする必要がある。そうした表現を入れると、取り組みの方向性がより具体的に見えるのではないか。

○事務局

次期計画策定に向けて、指標全体の見直しも含めながら検討していく。

○委員

「おゆずりぐるり」の対象となる子育て世代はインスタグラムをよく見ている。報告書のまとめにおいても「SNS 等での発信が大切」と記載されている。「おゆずりぐるり」のインスタグラムの QR コードを報告書に載せてはどうか。

○事務局

検討する。

2. その他

○事務局

次回の審議会について案内

○会長

それでは、第4回豊中市環境審議会をこれにて終了する。